

主題：信徒

メッセージ 38

彼らの現在——神聖な同形化のために、神聖な造り変えにおいて神聖な三一の分与を享受する (2)

聖書：Ⅱコリント 5:14-15. ローマ 14:7-9

I. わたしたちは主のくびきを負い、彼から学ぶことによって、神聖な三一の分与を享受します——マタイ 11:28-30. 参照、エペソ 4:20-21：

- A. 主のくびきを負うとは、父のみこころを取ることです。父のみこころは負いやすく、良く、親切で、柔和で、温和で、容易で、楽しく、過酷で、激烈で、陰しく、苦痛であることの反対です——ヨハネ 4:34. 5:30. 6:38. イザヤ 7:14-15. 参照、ヨハネ 6:57。
- B. 主の荷は、父のみこころを遂行する彼の働きです。そのような荷は軽く、重くはありません—— 4:10, 14. 7:37-38. Ⅱコリント 2:13. ローマ 14:17-18. ピリピ 2:12-16。
- C. わたしたちが主のくびきを負い、彼から学ぶことによって持つ安息は、わたしたちの魂のためです。この内側の安息が指しているのは、律法や宗教の下の、あるいはいかなる働きや責任の下の労苦と荷から解放されることだけでなく、完全な平安と、全き満足です——マタイ 12:8. イザヤ 56:2. 58:3. 出 31:13-14。

II. わたしたちはキリストに生きることによって、神聖な三一の分与を享受します——Ⅱコリント 5:14-15. ローマ 14:7-9：

- A. キリストに生きるとは、彼をわたしたちの生活の目標とすることです。それが意味するのは、わたしたちが主の方向づけ、制御、支配の下にあり、わたしたちが彼の定められた御旨を成就し、彼の願いを満たし、彼が意図されることを完成するという事です—— 9 節。
- B. わたしたち自身に生きるとは、わたしたちが自分自身の方向づけ、制御、支配の下にあり、わたしたちが自分自身の目的と目標を顧慮し、自己をわたしたちの生活の目標とするということです。
- C. わたしたちは自分自身ではなく、キリストに生きます。なぜなら、「キリストの愛がわたしたちに押し迫っているからです」。これは、彼がわたしたちのために死なれたことを通して、十字架上で現された愛です——Ⅱコリント 5:14。
 - 1. 「押し迫っている」を指すギリシャ語は、「四方から押しつける、身動きのできないように押さえつける、強制的に制限する、限られた範囲に詰め込む、(壁に挟まれた細い道にいるように)一つの路線、目的へと閉じ込める」を意味します
 - 2. わたしたちは主イエスを愛していますが、常に進んで彼の道を取るとは限りません。しかし彼の愛は、わたしたちを制限し、わたしたちを狭い道に閉じ込め、唯一の目標、すなわち、キリストご自身の中へと挟みます——ピリピ 3:14。

3. わたしたちが、キリストの元気づける、犠牲の愛によって押し迫られることは、神を元気づけます。それは、わたしたちがキリストの大使となって、人を神に和解させることを通して、人を元気づけるためです——士 9:13. II コリント 5:18-20. 雅 1:2. 参照、4:10。

D. わたしたちがキリストに生きることは、彼がわたしたちの主であり、死んでわたしたちを買われ、わたしたちが彼に属しているという証しです——ローマ 14:7-9. I コリント 6:19-20. I ペテロ 1:18-19。

Ⅲ. わたしたちは、霊、すなわち、命の霊、神の霊、キリストの霊とミングリングされているわたしたちの霊にしたがって歩くこと（生き、動き、わたしたちの存在を持つこと）によって、神聖な三一の分与を享受します——ローマ8:4, 2, 9, 16 :

A. その霊によって生きるとは、わたしたちの生活をその霊に依り頼ませ、その霊によって規制させ、その霊をわたしたちの生活の本質とすることです。その霊によって歩くことは、わたしたちの日常生活における実行上の生活と行動がその霊によって導かれ、支配され、わたしたちの道のためにその霊を小道とすることです。それは、わたしたちが地上で神の定められた御旨を成就し、わたしたちの生活の目標に到達するためです——ガラテヤ 5:16, 25。

B. その霊によって歩く人たちは、神を尊びます。その霊を供給する人たちは、人を尊びます——II コリント 3:6, 8. サムエル上 2:30. ヨハネ 12:26。

C. 主は、わたしたちの魂を回復する（復興し、造り変える）ことによって、また霊にしたがって、神聖な命の流れの中で義の道を歩くようにわたしたちを導くことです——詩 23:3. ローマ 8:4. 啓 7:17. 22:1。

D. わたしたちの霊に注意を払い、霊の感覚を顧慮することによって、わたしたちは霊にしたがって歩き、命の霊の法則は自動的に、自然に、わたしたちを罪と死の法則から解放します——ローマ 8:2, 4, 6。

E. わたしたちはその霊によって歩き、わたしたちの霊の中でその霊によって仕えるとき、肉の欲を満たすのではなく、自動的に、自然に、その霊の実を生み出します——ガラテヤ 5:16, 22-25. ピリピ 3:3. ローマ 1:9。

F. わたしたちは、その霊によって歩いてその霊の実を結ぶことができるか、肉によって歩いて肉の働きを現わすことができるかのどちらかです。——ガラテヤ 5:16-26. 6:12. ピリピ 3:3。

G. わたしたちはその霊によって歩くなら、肉と肉の背後で潜んでいる悪魔を自動的に打ち破ります。わたしたちがこのように肉に敵対した戦いに勝つとき、キリストを表現する神の定められた御旨は完成されます——出 17:8-16。

Ⅳ. わたしたちはその霊へとまくだることによって神聖な三一の分与を享受します——ガラテヤ 6:7-10 :

A. その霊へとまくだことは、その霊の定められた御旨を完成するという展望を伴ってまくだことを意味します。これはその霊をわたしたちの目標とすることです :

1. 実は、その霊によって歩くことは、その霊へとまくだことを意味します—— 5:16。

2. わたしたちの生活と生きることに於いて、わたしたちはその霊を目的とし、その

霊を目標としなければなりません—— 6:8。

3. 神のエコノミーは、ご自身をその霊としてわたしたちに与えることです。わたしたちがすべてを含むその霊、すべてを含む三一の神をわたしたちの唯一の永遠の目標とすること以上に、神によって喜ばしいことはありません—— 3:5 前半, 14. 参照、ピリピ 2:13。

B. 肉へとまぐことは、肉の目的を完成するという展望を伴ってまぐことを意味します。これは、肉を目標として持つことです：

1. 肉と霊の間に中立の立場はありません。わたしたちの目標はどちらか一方です——ローマ 8:6。
2. わたしたちが行なうあらゆることは、自分の肉へとまぐか、あるいはその霊へとまぐかのどちらか一方です。わたしたちがまぐものはすべて、肉から腐敗を刈り取るか、あるいはその霊から永遠の命を刈り取るかのどちらか一方の結果となります——詩 126:5. 箴 22:8 前半. ホセア 8:7 前半。
3. もしわたしたちが肉に生きるなら、わたしたちがクリスチャンの働きとして行なうことは、効果的ではありません。何が勘定されるかは、わたしたちの働きではなく、わたしたちがまぐものです——マルコ 4:14. 申 22:9

C. わたしたちの目標がその霊となる時、わたしたちは他の人、また召会にとって命の供給となります——ガラテヤ 6:10. II コリント 3:6。

D. わたしたちがその霊へとまぐとき、その霊はわたしたちを新創造とします：

1. 新創造とは、神の選びの民がすべてを含む霊を彼らの目標とし、また目的として、彼と一つ霊となることです。結果として、神聖な要素が彼らの中に注入され、彼らを再構成し、彼らを新しくします——ガラテヤ 6:14-15。
2. 永遠の命の究極的完成である新エルサレムは、究極的完成の結果となり、わたしたちがその霊へとまぐことの刈り取りとなります—— 8 節後半. ヨハネ 4:14 後半. 啓 22:1-2。
3. 主は彼の回復の中で、その霊を目標とし、あらゆることにおいて彼に生きるよう召しを発しておられます。それは、永遠の命を刈り取るためです。わたしたちが命の中で、そのような栄光の目標を持つことができるとはなんとすばらしいことでしょう！

V. わたしたちが神聖な三一の分与を享受することは、神聖な三一の有機体の中を生き、神聖な三一の分与にあずかることによります——ヨハネ 16:13-15：

A. 神聖な三一の有機体には三つの面があります。それらは、第 14 章 2 節の父の家（召会）、第 15 章 1 節から 5 節のぶどうの木の枝（キリストのからだの構成要素）、第 16 章 21 節の新しく生まれた団体の人（新しい人）です。

1. これらすべては召会について述べており、召会が、キリストの死と復活を通して、彼によって生み出された栄光の増し加わりであることを示しています—— 12:23-24。
2. この有機体は、三一の神の一の中で、また彼の神聖な分与の中で維持される必要があります。それゆえ、主は、ヨハネによる福音書第 17 章の彼の結びの祈りに

において、この事柄のために特に祈られました。

B. ヨハネによる福音書第 17 章の主の祈りは、キリストのからだのすべてを含む一のためであり、三一の神の中にある信徒たちの一のためでした：

1. 一の第一段階は、父の御名の中にある一、また父の神聖な命によります—— 6-13 節。
2. 一の第二段階は、聖別する言の実際の中にある一です—— 14-21 節。
3. 一の第三段階は、神聖な栄光の中にある一であり、手順を経て、合併された三一の神の表現のためです—— 22-24 節。

VI. わたしたちが神聖な三一の分与を享受することは、わたしたちの霊の中で、手順を得た三一の神で満たされ、キリストの言をわたしたちの内に豊かに住ませることによります——エペソ 5:18. コロサイ 3:16 :

- A. わたしたちが霊の中で、その霊で満たされるなら、その結果は、正常なクリスチャン生活、正常な召会生活、正常な個人の生活、正常な家庭生活であって、それには、神聖な属性がわたしたちの人の美德となることの結果である霊で満たされた道徳が伴います——エペソ 5:18-6:9. 4:30. I テサロニケ 5:19。
- B. コロサイ人への手紙は、キリストをわたしたちのかしら、また命とすることに焦点づけられています(1:18. 3:4)。キリストが彼の頭首権を行使し、彼の豊富をわたしたちに供給する方法は、彼の言がわたしたちの内に豊かに住むことを通してです。それゆえ、わたしたちは祈る必要があります、「主よ、わたしはわたしの全存在をあなたとあなたの言にささげます。わたしは、わたしの内なる存在の各部分に入るための権利をあなたに与えます。主よ、あなたご自身のために、またあなたの言のために、わたしの内なる存在の中にホームを造ってください」。
- C. わたしたちは霊の中で、その霊で満たされて、キリストの言をわたしたちの内に豊かに住ませます。それは、恵みと真理の中で新しい人にふさわしい生活を生き(エペソ 4:24, 29, 21)、愛と光の中でキリストの妻にふさわしい生活を生きるためです (5:2, 8-9, 13-14, 22-25)。